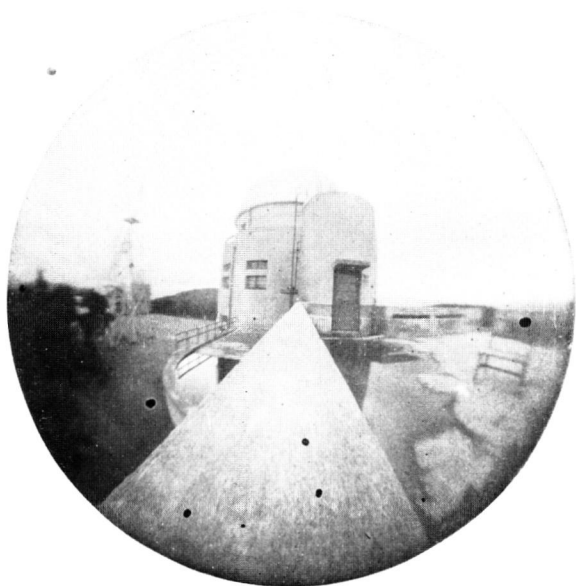
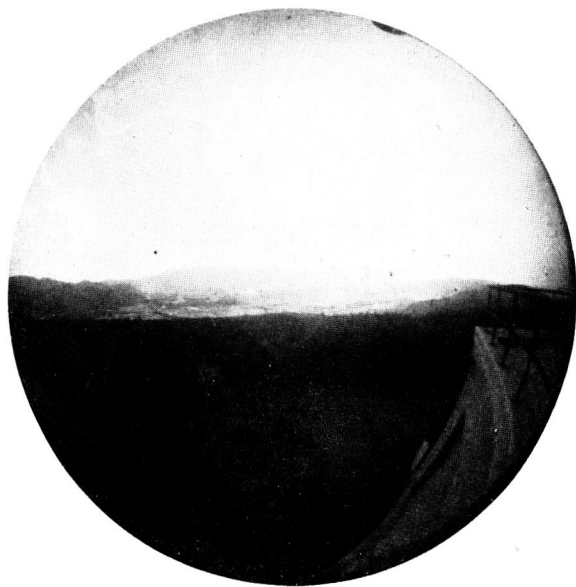


魚眼レンズに寫つた花山

大阪朝日新聞社秘藏の魚眼レンズ寫眞器械を拜借して、天空の研究撮影を試みると共に、花山天文臺の内外四方の景觀を撮つた。技師は稻葉理學士。グロテスク100バセント、天上天下無類の珍物揃ひ、考へ考へ、ゆつくりと御覽下さい。（本號表紙も其の一つですが、あれは何の寫眞だか御判りですか？）



本館屋上の東端より西に向つて天文台の全景を撮る



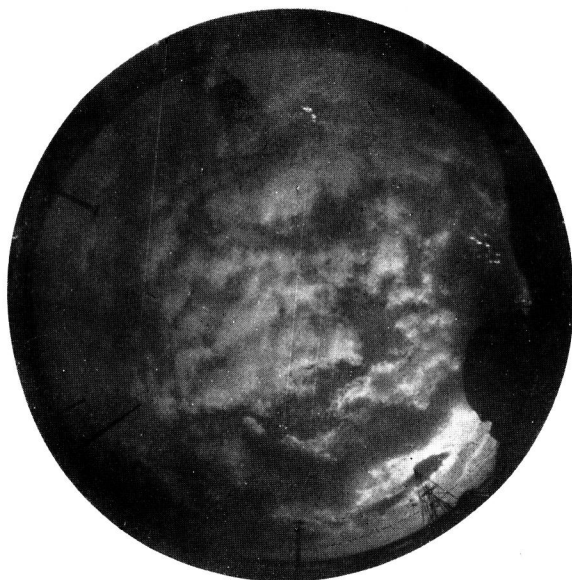
太陽館より南方の景を見る



太陽館より東方を見る



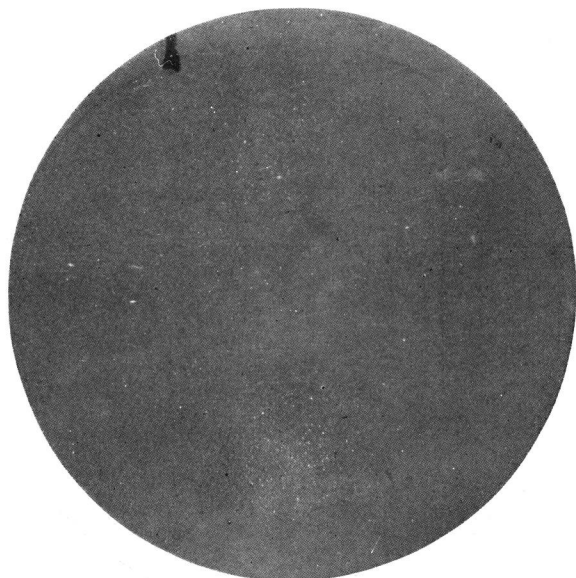
本館の露台より南方を望む



山頂の雲の往來



カメラを固定して天頂の星々を狙ふ
(中央は双子，上部は木星，左上は小犬，右下は北極星)



天頂の羊星座を追ふ (中央に羊とペルセ，左に駟者，
左下にオリオンと大犬，上部に北極とカシオペア)



沈み行く月の夜景



圖書室内の集ひ(居並ぶ面々は誰々ぞ?)